

【教育目標】

健康で明るい子ども

心豊かに表現できる子ども

自ら学びやりとげる子ども

心通わせともに育ち合う子ども

梅雨が明け、本格的な夏の訪れを感じる季節となりました。園では、子どもたちが水遊びや虫探し、夏野菜の収穫など、この季節ならではの体験を思い切り楽しんでいます。自然に触れ、友達と関わりながら過ごす毎日は、子ども達の心と体を大きく育ててくれます。これから夏本番を迎えます。暑さが厳しい日が続きますので、皆様もどうぞ体調に気をつけていただき、健やかに過ごしてください。

音楽会

音楽は“音を楽しむ”と書きます。子ども達が音楽を楽しみ、先生や友達と心を合わせて表現する喜びを味わってほしいと願い音楽会を行いました。

3歳児は、手作りのスペシャル楽器(空き箱やカップなどの中にビーズを入れ、紐を飾り付けました)を持ち、お気に入りの曲に合わせて鳴らし、歌も歌いました。初めてとは思えない堂々とステージに立つ姿に、入園してから3カ月の成長を感じました。

4歳児は、タンバリン・すず・トライアングルの楽器を使った合奏と歌を披露しました。新しい楽器との出会いを存分に楽しみ、お家の方に聞いてもらえる嬉しさを味わう子ども達の姿が見られました。

5歳児は、大太鼓・小太鼓・鉄琴・木琴など、4歳児の時より憧れをもっていた楽器に触れ、クラスのみんなで音を合わせる充実感を感じながら合奏する姿をお家の方にも届けることができました。

子ども達の日常生活にも雨の音、鳥のさえずり、虫の鳴き声などいろいろな音が溢れています。忙しい日々の中、時には自然界の音にも耳を傾けられるゆとりや潤いを取り戻してくださいね。



七夕

地域の阪口さんにご協力いただき、笹飾りをつくりました。地域指導員の方と一緒につくったクラスもあり、創意工夫された飾りが日に日に増えていきました。お家の方と書いた願い事を笹に飾り、七夕当日、遊戯室には6本の見応えある笹がそろいました。

職員の劇による七夕の由来を聞く中で、1年に1度だけ会える彦星と織姫の姿に思いを寄せている姿が伺えました。子ども達にとっての七夕は、星空を見上げながら夢や願い事を大切に心を育む、素敵な日本の伝統行事になったことでしょう。



カブトムシ・クワガタムシをいただきました

地域の間宮さんから『虫屋職人・柊善浩』さんをご紹介いただき、子ども達に様々な種類のカブトムシ・クワガタムシを持って来ていただきました。じーっと興味深く見ている子や、恐る恐る触れてみると想像していたよりも怖くなかった、と感じ積極的に触れる子など、幼児期に本物の生き物と関わる経験は豊かな感性や好奇心を育み、子ども達の心を大きく成長させてくれます。地域の方の思いを子ども達の育ちにしっかりつなげて、各々が思い思いに関わっています。

